



発行者
諫早市立真城中学校
校長 山内 昇

学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造性に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

○ 今週・来週は読書週間です！

10月28日の、図書の貸出冊数は「70冊」でした。1週間前は14冊だったので急増しました！今週と来週は読書週間です。文化委員会を中心に、様々な企画を計画しています。給食時間に、図書支援員の二田さんに読み聞かせを行っていただいています。聴く人を引き付ける語りに、生徒たちも物語の世界に入ることができています。たくさん本を借りた人のために、クイズや景品をも用意して、読書週間のイベントを盛り上げていました。



上の写真は、30日（木）の図書室の様子ですが、本を借りる人、クイズに参加する人、景品を（真剣に）選ぶ人など、様々でした。景品の多くは、お世話になっている本屋さんが、雑誌の付録などを提供していただきました。中には、かなりレアなものも含まれていたようでした。生徒たちの目が「本気」だったのが印象的です。

この取組のおかげで、日頃は図書室に足が向かなかった人も来室し、本を手にとってくれるとうれしいです。教科書もデジタル化の波が押し寄せていますが、海外では「紙の教科書のよさ」が改めて見直されていると聞きます。また、1冊の本と向き合い、その中から大切な何かを吸収してほしいと思います。やはり、本は自分自身の人生を豊かにしてくれるものだと思います。読書週間後半の取組にも期待したいと思います。

ちなみに、右の「百色図鑑」は、私のお気に入りの一冊です。



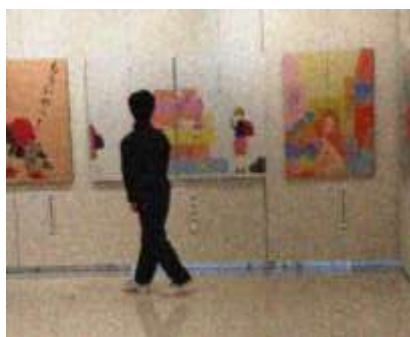
○ 1年生野外活動（史跡めぐり）

1年生は、30日（木）・31日（金）の2日間、野外活動に取り組んでいます。1日目の活動は、諫早市美術歴史館とその周辺の史跡などを散策する「史跡めぐり」です。班行動で活動を行い、美術歴史館のスタッフの方々から、丁寧に史跡や展示物の説明をしていただきました。天候にも恵まれ、さわやかな秋晴れの中、諫早の自然や文化に触れることができました。



やはり、自分のふるさとのことを知り、愛着をもつことはとても大事なことです。将来、諫早を離れたとしても、必ずふるさとの話題になります。そんな時、「諫早」のよさを、自信をもって語れる人になってくれると嬉しいです。

また、美術歴史館では、「県展」が開催されており、書や絵画、陶芸、ポスター、写真など、多くの素晴らしい作品が展示されていました。このような素晴らしい作品を、一度に見る機会はめったにないので、こちらも、よい学びになったと思います。生徒たちにとって身近な、授業で学ぶ絵画やポスターの前で足を止める人が多かったようです。



2日目は、中核工業団地の見学です。ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、ANAの2か所を訪問します。次回の学校だよりで、その様子を紹介します。

今日の給食（30日）



昨日（30日）の給食は、**吉野煮**、**ふんわり野菜揚げ**、**アモンド和え**でした。吉野煮は、鶏肉、凍り豆腐、にんじん、いんげん、こんにゃく、たけのこ、しいたけ、じゃがいも、と具沢山で、この一品で多くの栄養を摂ることができます。ふんわり野菜揚げは、予想以上に「ふんわり」していて、あっという間に口の中でとけてしまいました。不思議な食感でした。毎日、バリエーションに富んだメニューで、栄養も、満点です！！給食委員会の取組で、残食も減ってきているそうです。成長期の中学生の皆さんには、意識して多くの栄養を摂取してほしいと思います。